

## 番組審議会資料（第16回、令和3年2月 書面にて）

1 開催年月日：令和3年2月（委員のご意見は3月末日まで）

2 開催場所：今回は紙上にて

3 委員

委員総数 8名

委員の氏名：足立盛二郎（元公益財団法人 日本棋院理事、

元ゆうちょ銀行取締役兼代表執行役会長・日本郵政取締役）、

兵頭俊夫（大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

物質構造化学研究所 ダイヤモンドフェロー）、

野田慶人（日本大学 芸術学部 放送学科 教授）

音 好宏（上智大学 文学部 新聞学科 教授）、

中村幸雄（オフィス・サンライズ 代表、

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 顧問、

元株式会社損害保険ジャパン 代表取締役専務・監査役）、

金子光男（公益社団法人日本将棋連盟 学校教育アドバイザー 大学担当

学校法人明治大学 監事）、

清水市代（将棋女流棋士／

公益社団法人日本将棋連盟 常務理事・女流棋士会 監事）

吉原由香里（囲碁棋士）

4 議題

- ・特別番組について
- ・ドキュメンタリー番組について
- ・藤井聡太関連番組について
- ・生放送について
- ・収録時のコロナウィルス対策について

5 議事の概要

(1) 特別番組について

「第30期 竜星戦 開幕特番」

「特別番組 ありがとう小川誠子さん」

「仲邑 董初段特別対局 vs レジェンド武宮正樹九段」

(2) ドキュメンタリー番組について

「第27期銀河 豊島将之の素顔」

「ドキュメント 棋士編入試験～折田翔吾～」

- 「第 42 期女流王将 西山朋佳の素顔」
- (3) 藤井聡太関連番組について
- 「棋聖・藤井聡太に訊く」
- 「第 70 期 王将戦挑戦者決定リーグ戦」
- 「第 33 期 竜王戦 決勝トーナメント 丸山忠久九段 vs 藤井聡太棋聖」
- 「藤井聡太二冠×東大生クイズ王特別対談」
- 「第 28 期 銀河戦 決勝戦」※初優勝
- (4) 生放送について
- (5) 収録時のコロナウィルス対策について

## 6 詳細（各番組の内容）

### (1) 特別番組について

「第 30 期 竜星戦 開幕特番」（初回放送：2020 年 10 月 28 日）

近年の竜星戦では、特に女流棋士の活躍が目覚ましいことから、竜星戦に出場する女流タイトルホルダー 3 名に出演を依頼。座談会形式で収録した。

「特別番組 ありがとう小川誠子さん」（初回放送：2020 年 4 月 3 日）

故・小川六段と同門で内弟子時代を共にするなど、生前親交の深かった方々をスタジオに招き、故・小川六段の歩みや人柄、エピソードなどを写真や映像を交えながら振り返った。

「仲邑 董初段特別対局 vs レジェンド武宮正樹九段」

（初回放送：2020 年 5 月 5 日）

仲邑初段（当時）の希望で実現したレジェンド・武宮正樹九段との特別対局。結果は白番・仲邑初段の 2 目半勝ち。レジェンド相手に気後れせず、勢いのある戦いぶりを見せた。今後、特別対局をシリーズ化し、仲邑初段の成長とともに紹介していきたい。

### (2) ドキュメンタリー番組について

「第 27 期銀河 豊島将之の素顔」（初回放送：2020 年 4 月 4 日）

銀河戦で初優勝を果たした豊島将之第 27 期銀河に密着した番組。群雄割拠の様相を呈する現在の将棋界で、竜王・名人の 2 大タイトルを獲得するという偉業を成し遂げた豊島銀河だが、そのプライベートはほとんど知られていない。チャンネルでは豊島銀河に密着し、対局では見られない素顔に迫った。

「ドキュメント 棋士編入試験～折田翔吾～」 (初回放送：2020年6月20日)

2018～2019年、「第27期 銀河戦」にアマチュア枠で出場した折田翔吾アマ (当時)。プロ棋士相手に7連勝し、注目された。その後も勝利を重ね、棋士編入試験の受験資格を勝ち取った。チャンネルでは、2019年11月～2020年2月まで行われたその棋士編入試験を追った。

「第42期女流王将 西山朋佳の素顔」 (初回放送：2020年12月31日)

新竜星位、新銀河位のプライベートに迫る「素顔」シリーズが好評を得たため、女流王将でも制作を試みた。

奨励会三段 (当時) で棋士を目指しつつ、現在3つの女流タイトルを持つ西山女流王将に密着。大阪生まれの西山女流が一度訪れてみたかった小江戸「川越」を巡りながら、女流棋士界を牽引する25歳の素顔に迫った。

### (3) 藤井聡太関連番組について

「棋聖・藤井聡太に訊く」 (初回放送：2020年9月3日)

2020年7月16日、最年少タイトル獲得記録を30年ぶりに更新した藤井聡太棋聖。そのタイトル奪取からわずか5日後に藤井棋聖へのインタビューの機会を得た。

17歳11か月でタイトル奪取という歴史的快挙を達成した「第91期ヒューリック杯棋聖戦五番勝負」を振り返りながら、タイトルホルダーとしての「想い」を語った。

「第70期 王将戦挑戦者決定リーグ戦」 (生放送：2020年9月～11月)

今期も藤井二冠の挑戦者決定リーグ戦全6局を生放送。前期はタイトル挑戦権獲得まであと1勝というところで広瀬八段に負け、チャンスを逃した。今期も挑戦権獲得の大本命との呼び声は高かったが、リーグスタートから3連敗。後半は巻き返すもリーグ陥落という残念な結果となった。6局全ての視聴率は高く、藤井対局の関心の高さを証明した。

「第33期 竜王戦 決勝トーナメント 丸山忠久九段 vs 藤井聡太棋聖」

(生放送：2020年7月24日)

ランキング戦3組優勝者の藤井棋聖と、ランキング戦2組2位の丸山九段の竜王戦対局を生放送した。途中、千日手による指し直しとなり、午後11時を越える長時間の対局となった。藤井棋聖は惜しくも敗戦したが、勝ち上がれば竜王への挑戦権を獲得する注目の対局とあって高い視聴率を記録した

「藤井聡太二冠×東大生クイズ王特別対談」（初回放送：2021年1月1日）

毎年、藤井二冠には年末年始特番での各界有名人との対談が主だが、今回はオセロ対局を企画した。相手は、民放クイズ番組で人気の高い東大生・林 輝幸さんをキャスティング。藤井二冠には林さんからの質問に答えながらオセロをするという特殊ルールを設定し、「藤井脳」対「東大脳」どちらが正確で高い処理能力があるのかをバラエティ感覚で比較検証した。

「第28期 銀河戦 決勝戦」※初優勝（初回放送：2020年12月12日）

決勝戦は、藤井二冠と糸谷哲郎八段の対局となり、藤井二冠がこれまでの最年少記録を更新して初優勝。優勝賞金の使い道については、「自作PC費用で出費がかさんだため、節約した次のPC組立て費用にしたい」と語った。

番組は、将棋プレミアムで先行配信した後にCSで放送したが、どちらも高視聴率を達成した。

#### (4) 生放送について

前回以降の生放送番組を紹介

#### (5) 収録時のコロナウィルス対策について

【棋士のみが出演する番組】 対局番組（竜星戦、銀河戦）、その他

スタジオ入口に検温計、手指消毒液を設置。収録時は出演者の間にアクリル板の衝立を設置（特注制作）。スタジオ・控室・メイク室等、消毒の徹底も実施。

長時間同じ部屋にいる状態を避けるため、感想戦は当面中止することとした。

【視聴者参加型番組】 棋力向上委員会 The PASSION！！

一般視聴者が参加し、毎回棋力に合わせた宿題と指導対局で棋力アップを目指す番組。

緊急事態宣言の発出を受け、移動の制限もあることから、リモート収録で対応した。

### 7 委員より届いたご意見ご感想（要約）

（足立委員）近年、生放送、特番が増えて内容が充実し、地上波の放送に近づいてきたような気がする。

プロ棋士ばかりが登場しないで、一般人が登場する番組もあっていいと思う。

（例1）大倉喜七郎賞を受賞した人が「囲碁と人生」を語る、等。

（例2）来日した外国人が「囲碁の面白さ」を語る。

（兵頭委員）「仲邑菫初段特別対局 vs レジェンド武宮正樹九段」は魅力的な企画だった。仲邑初段（当時）の積極的な打ち回しを楽しめた。

棋士に焦点を絞った長時間番組はチャンネルならではのものなので、これからも大いに期待している。

(野田委員) 番組を見ていて感じるのは、必ずしも本業でない人も居るので一概には言えないが、司会者の人選にも少し配慮工夫して頂けると、もっとすっきり楽しめる気がする。

(音委員) 藤井聡太七段にフォーカスした番組は、これまでも多く見られたが、最近、特定の棋士の活躍にフォーカスした番組が増えているように感じる。棋士の素顔取材したヒューマンインタレスト型の番組は、囲碁将棋の世界の幅を示すものであり、大変良いことだと考える。

但し、取り上げる棋士たちを褒めたたえるだけでなく、ジャーナリスティックな視点で取材・編集してほしい。その方が長期的に見ると、囲碁将棋ファンを増やすことにつながると考える。

(吉原委員) パーティションを設置する等、コロナ対策としての細かな配慮を感じる。

棋士の素顔が伝わる番組等、チャンネルならではの番組をこれからも楽しみにしている。

以上